

令和6年度地方教育行政功労者表彰（文部科学大臣表彰）について

このことについて、本県から下記の者が受賞しましたので、報告いたします。

「地方教育行政功労者表彰」は、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員及び教育長を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資することを目的とするものです。

なお、今年度の表彰式は10月10日に文部科学省講堂で開催されました。

○ 被表彰者及び主な功績

氏 名	略 歴 (期 間)	主 な 功 績
もりしま ひとし 森島 仁	さくら市教育委員会教育委員 (H21. 5. 24～R6. 3. 31) さくら市教育委員会教育委員長 (H26. 5. 24～H29. 5. 23) 栃木県市町村教育委員会連合会長 (R1. 11. 6～R3. 11. 5)	教育委員として4期14年10ヶ月にわたり、教育委員長、職務代理者を歴任しながら市の教育振興、充実、発展のために尽力した。特に、学校規模最適化の推進に取り組み、学校の統廃合や校舎増築を実現させるとともに、「今日が楽しく明日が待ち遠しい学校」を目指す学校像として掲げ、教育環境の改善を図った。地区や県の連合会長も歴任し、県内の教育行政の円滑な運営に多大な貢献をした。
たしろ かずよし 田代 和義	那須烏山市教育委員会教育長 (H27. 4. 1～R6. 3. 31)	教育長として9年にわたり教育振興の充実、発展のために献身的に尽力した。特に英語コミュニケーション推進事業やスーパーティーチャー育成事業を実施し、児童生徒の学力や教員の授業力の向上において大きな成果を上げた。さらに、児童の減少に伴い小規模特認校制度を導入するなど地域の特性を生かした教育活動の推進に貢献した。
かさはら けんいち 笠原 健一	足利市教育委員会教育委員 H19. 10. 10～R5. 10. 9 足利市教育委員会教育委員長 H22. 10. 13～H27. 3. 31 栃木県市町村教育委員会連合会長 H29. 11. 8～R1. 11. 6	教育委員として4期16年の間、足利市教育振興の充実、発展のために精力的に職務にあたり、教育委員会の円滑かつ、活発な運営に尽力された。児童生徒の教育環境の改善をはじめ、国際交流や文化・芸術の振興、文化財保護に熱心に取り組みされた。また、県連合会会長として、市域を超えた教育の振興に大きく寄与された。